

長官用

大野川河水統制事業一件

大分縣



大野川河水統制事業國庫補助申請書

大分縣



土第四六四號

昭和十七年二月十日

大分縣知事 灘尾 弘吉

內務大臣 東條 英機 殿

大野川河水統制事業國庫補助申請

本年度ヨリ向フ五箇年間、繼續事業トシテ管下
大野川河水統制事業施行、計畫ニ有之候處本
件ニ對シ昭和十六年度以降國庫補助、件昭和
十六年四月十日付內務省發土第八四號ヲ以テ御
通牒、次第有之別紙添付設計概要書ノ通急
速施行致度候條曩ニ御通牒、通リ國庫補助
、義特別、御詮議相仰度縣會、決議書白ヲ添へ
此段及申請候也

大野川河水統制事
禁國庫補助申請書

目次

- 第一 事業、概要
- 第二 計畫、概要
- 第三 貯水池容量決定、根據並貯水池
利用方法
- 第四 內務省令第三十六號
河川堰堤規則第三條、圖書
- 第五 工事、大要
- 第六 工事費概算

大野川河水統制事業設計概要

第一事業ノ概要

(一) 事業者

大分縣

(二) 事業ノ目的

灌溉用水、水道用水、工業用水及其他用水ノ原水供給並ニ
電燈電力ノ供給

(三) 水ノ使用期間

灌溉用水

水道用水

工業用水

自六月二十日
至九月末日

年中

全

第二計画ノ概要

(一) 給水

(1) 水道給水量、決定

(イ) 給水、現況

鶴崎、坂、市西町共各々現在人口甚万足ラスノ小都市ニシテ未タ水道設備ナク殆ンド地下水ニ依ルモ水質不良ニシテ工場、建設ニ伴フ人口ノ急激ナル増加ト共ニ之レガ設置ハ保健衛生上急速ヲ要ス

(ロ) 計画給水区域

窪崎町、坂之市町

(ハ) 人口増加、推定及計画給水人口

北九州ヲ若松、戸畑、小倉其他工業都市ノ三拾ケ年間ニ於ケル人口増加率當初人口ノ三倍程度ナルモ本計画区域ノ人口増加率ハ之等ノ都市ニ比較スルニ六母体タル現況微々タルモノナリ 仍テ本地方ハ本事業並港灣、修築等

完成後ハ工場、新設ヨリ飛躍的ニ人口膨脹スルモノト推定シ毎年三〇〇〇人程度、急激ナル増加ヲ見ルモノトセリ、又坂、市町ハ其半ト看做シ毎年一、四〇〇人宛増加スルモノトシテ今後三拾ケ年後ノ人口ヲ推定セバ次、如シ

鶴崎町 人口 一〇〇、〇〇〇人

坂、市町 人口 五〇、〇〇〇人

計画給水人口

三拾ケ年後ニ於ケル水道給水普及率ヲ八〇%トスレバ

鶴崎町 八〇、〇〇〇人

坂、市町 四〇、〇〇〇人

計 一二〇、〇〇〇人

(ニ) 単位給水量増加、推定

北九州五市ニ於ケル単位當給水量平均一日一人當一五〇立ナルモノ三拾ケ年後ニ於テハ文化ノ發展ニ從ヒ水

、使用量ハ相當増加スルモ、ト推定サルルヲ以テ單位當給水量ヲ次、如ク決定ス

一日一人當給水量 二五〇立

(ホ) 計画給水量及計画取水水量

計画給水量 毎秒〇、三四七ニ立方米

計画取水水量

漏水其他ノ損失ヲ二〇%ト見込ミ次、如ク決定セリ

毎秒〇、四一六六立方米(一五個)

(2) 工業用水量ノ決定

(イ) 鶴寄地方ハ工業的發展、日尚淺ク屢ニ創業セル

日本染料株式會社及目下建設中、陸軍造兵廠

國策パルプ工場等アリ、其、現在使用水量並豫約

使用水量ハ次、如シ

工場名	敷地面積	現在使用水量	本計画完成後使用水量	現在單位當水量
日本染料工場	三〇万坪	〇、三三三九 (一、二個)	〇、八四一五 (三、〇個)	一日十坪當 一〇〇屯
陸軍造兵廠	七〇	〇、五五五 (二、〇個)	〇、五五五 (二、〇個)	七〇屯
國策パルプ工場	二〇	〇、八四一八 (三、〇個)	〇、八四一八 (三、〇個)	三六〇屯
計	一二〇	一、七三〇六 (六、二個)	二、二三八六 (八、〇個)	平均 一二五屯

(ロ) 計画給水區域及計画工場敷地面積

計画給水區域

鶴寄町、坂之市町、三佐村、桃園村、高田村、大在村

計画工場敷地面積

本地方ノ發展ニ伴ヒ原料並製品ノ搬出入ニ必要ナル

工業港ノ設置モ近ク實施セラルルコトナリ、而モ海濱

ハ遠淺ニシテ埋立ヲ為スニ好適地ナリ、故ニ港湾ノ造成ト

関連シ臨海工業地帯トシテ利用シ得ヘキ埋立面積

並ニ附近工業適地総面積ハ次、如シ
 工場敷地トシテ埋立利用シ得ヘキ面積 一三〇万坪
 将来工場敷地トシテ利用シ得ヘキ面積 一七〇万坪
 計 三〇〇万坪

(ハ) 工業ノ種類及單位面積計画用水量
 工業ノ種類

化学工業、金属工業、紡績工業
 單位當計画用水量

現在ノ工場ハ化学、紡績等ノ比較的水ヲ多量ニ要スル工業ナルモ 将来ハ金属、機械等ノ水ノ使用量少ナキ工場ヲ誘致セラル、見込ニ就キ單位當用水量ハ次ノ如ク推定サル

工場敷地一〇〇坪當ニ付一日 一六〇屯
 (ニ) 計画工業用水量

名 称	敷地面積	使用水量	摘 要
設 計 中 之 工 場	一 二 〇 万 坪	二 二 三 八 六 屯 (ハ。箇)	
将 来 工 場	三 〇 〇 万 坪	五 五 五 五 屯 (二 〇 〇 箇)	
計 算	四 二 〇 万 坪	七 七 九 四 一 屯 (二 八 〇 箇)	

(3) 農業用水ノ決定

(イ) 農業用水ノ現況

本川中流ハ大野郡牧口村大字岩戸ヨリ下流大分郡戸次所附近迄ハ河床洗掘セラレ兩岸屹立シ又洪水ノ被害アリ 最近迄ハ殆ント灌漑ニ利用セラレス 戸次町大塔ニ至リ初メテ揚水利用セラレ之ヨリ下流ニハ規模ノ耕地整理組合ニヨル揚水灌漑セルモノ僅カニ四ヶ所アルノミナリ 如斯本地方ハ本川ヨリノ灌漑少ク概ネ溜池小溪流

或ハ原始的各田毎、機鈎瓶ヲ以テ地下水溜ヨリ揚水セルノ現況ニシテ不測ノ勞力ヲ要スルト共ニ又現代施設ト遠サカルト甚々シキモノアリ

本川大野郡百枝村ヨリ下流ニ於ケル本川ニ依ル

灌漑狀況調

名 称	灌漑及別	使用水量	單位當田水量 (一町步當)	摘 要
大塔 耕地整理組合	七、三 (町)	〇、〇九、四 (三、二五個)	〇、〇一、二九一 (四、四六個)	
宮河内	六九、〇	〇、七〇、〇〇〇 (二五、二二)	〇、一〇、一四 (三、六五)	
種迫	六〇、〇	〇、〇三、一七 (二、二二)	〇、〇五、一九四 (一、八七)	昭和井路開 係区域
窪寄	五〇、〇	〇、六六、七八 (二四、〇四)	〇、一三、三五六 (四、八〇、八)	
計	一八六、三	一、七六、九九 (六三、七二)	〇、〇九、五〇 (三、四二)	
昭和井路完成後 計	一三六、三	一、四五、八二 (五二、四九五)		

(四) 計画給水区域及灌漑面積(昭和井路開闢費ニ事業費ニシテモノ) 計画給水区域

大分郡戸次町、竹中村、松岡村、明治村、高田村、判田村、
北海部郡川添村、大在村、神寄村、坂之市町

灌漑面積

開 田 八三四町步
在来田 一、〇七五町步
計 一、九〇九町步

(ハ) 單位當田水量

開田ニ要スル單位當田水量ハ比較的多量ナルモ開田當初
數年間ハ吸水率大ニシテ豫想外ノ水量ヲ要ス又在来田
ノ補水ニ對シテハ全区域ニ互リ其灌漑狀況千差万別ナル
モ在来田ニ對シテ當地方標準單位當給水量(一〇町步當
〇、〇三三立米)ノ約三分ノ一トシテ、通單位當田水量ヲ決定

セリ

(a) 取水堰堤位置

右岸 大野郡百枝村大字川辺字泉六八三番地先
左岸 全郡全村大字向野字下脇二四六番地先

(二) 取水口位置

大野郡百枝村大字川辺字泉 六八三番

(ホ) 送水路終端

大分郡吉野村大字志津留字 粟木迫 五三九番
本長谷 六〇八番

(ハ) 貯水堰堤位置

右岸 大分郡吉野村大字志津留字大柳三八八番
左岸 全郡全村大字志津留字荒川四一三番

(ト) 放水口位置

大分郡中次町大字影ノ水字大筒井 二五三七番

(5) 引用水量並発電用使用水量

(イ) 取水量 毎秒一〇八〇立方尺(三〇立方米)以内

(ロ) 用水ノ原水トシテ常時九割ノ通引用使用ス

灌溉期 毎秒五四〇立方尺(一五立方米)以内

非灌溉期 " 二九五立方尺(八二立方米)以内

(ハ) 発電用使用水量

発電用使用水量ハ右引用水中ヨリ本計画ニ依ル農業用
水量ヲ除キタルモノトス

最大 毎秒 九七二立方尺(二七立方米)

常時 " 四八六立方尺(一三五立方米)

尖頭常時 " 九七二立方尺(二七立方米)

(6) 有効落差

最大使用水量ノ場合 一六六、五七尺(五〇、四七七米)

常時使用水量ノ場合 一四八、三八尺(四四、九六五米)

尖頭常時使用水量ノ場合 一〇三、八七尺(三一、四七七米)

(7) 理論水力、理論馬力及発電電力

(イ) 理論水力

最大 一三、三五六キロワット

常時 五、九四九 "

尖頭常時 八、三二九 "

(ロ) 理論馬力

最大 一七、九三五馬力

常時 七、九八八馬力

尖頭常時 一一、一八四馬力

(ハ) 発電電力

最大 一一、二二〇キロワット

常時 四、八八〇 "

尖頭常時 六、九一〇 "

(8) 水、使用期間

昭和十七年二月ヨリ昭和~~二十~~^五年一月迄トス

第三、貯水池容量決定、根拠並ニ貯水池利用方法

貯水池容量決定、根拠

貯水池容量、計算ハ「貯水池水位ト貯水池容積曲線」参照

自然流量ト貯水量引用水量ト、関係ハ別紙、水位流量曲線圖ヲ以テ示セリ

取水口ニ於ケル流量表ヨリ灌漑期毎秒一五立方米非灌漑期毎秒九立方米ハ常時使用スルコト、ミテ之ニ不足スル日數並ニ期間内不足水量、和、大ナルモノヲ摘記スレバ次ノ如シ

年次	連続出現期間	全上日數	全上不足量 合計	摘要
昭和九年	自五月二十九日 至六月十九日	一七	一、九一八、〇〇〇 立方米	
"	自六月二十七日 至七月十九日	二二	四、〇三一、五六〇	
"	自七月二十九日 至八月二十七日	一〇	二、六五四、二〇〇	
"	自八月十五日 至九月五日	二二	三、六五四、七〇〇	
"	自五月二十二日 至六月二十三日	三三	八、六三三、八三〇	
"	自六月二十日 至六月二十四日	五	一、七二五、九〇〇	
"	自五月二十一日 至六月二十一日	三二	五、八四八、四〇〇	

即々既往拾々年間ニ於テ灌漑期ハ昭和九年六月二十七日ヨリ七月

二十九日ニ至ル間、四百立方メートル、昭和十年五月二十二日ヨリ六月二十日ニ至ル間、八百六十二立方メートルが最大値ナリ又昭和九年ハ大野川ニ於ケル標準最湯水年ニシテ前記責任流量ヲ放流スル場合ハ八百九十二立方メートル(昭和九年ノ累加曲線参照)ノ貯水容量ヲ要ス 仍テ本貯水池ハ幾分餘裕ヲ見込ミ有効貯水量九百七十六立方メートルト決定セリ

貯水池利用方法

本川ノ湯水期ハ夏冬ニ四ニシテ其大ナル概テ夏期ノ五月末ヨリ九月上旬ニ至ル間ニ出現スルヲ以テ本計画ニ於ケル各種用水ニ必要ナル水量(左記)即チ灌漑期一四、九五六立方メートル(毎秒)

各種使用水量調

各種用水	水道用水	工業用水	農業用水	計
灌漑期	〇、四一六六 ^{立方メートル}	七、七九四一	六、七四五三 ^{立方メートル}	一四、九五七 ^{立方メートル}
非灌漑期	〇、四一六六	七、七九四一	/	八、二一〇七

非灌漑期 毎秒八二〇、八立方メートル如何ナル湯水期ニ於テモ補給調整シ各種用水ノ原水ヲ確保スル利用方法ヲ採ルモノトス 故ニ灌漑期ハ貯水池ノ責任容量ヲ此ノ期間ニ不足スル最大ノ四百立方メートルニ餘裕ヲ見込ミ五百立方メートルシ發電使用水量ハ最小ヲ毎秒九立方メートルト限定ス 又本貯水池ハ春秋ニ貯水シ夏冬ニ補給調整セントス

發電ニ使用スル且取大ハ取水量ヨリ三立方メートル少ナキ毎秒ニ
七立方メートル常時ハ毎秒一三五立方メートルトシ電力負荷大ナル時間
即チ本地方ノ負荷曲線ヲ參酌シ繼續時間ヲ六時間トシテ
其ノ使用量ヲ調整使用スルモノトス

第四內務省令第三六號

河川堰堤規則第三條ノ圖書

別紙ノ通

第五工事、大要

大分郡吉野村地内ニ於テ大野川支川大筒井川ヲ横断シ高サ三七米幅ニ〇五米、非溢流型壘カ式「コンクリート」造堰堤ヲ築造シ有効貯水量三億五千百三十六万立方尺（九、七六〇、〇〇〇立方米）、貯水池ヲ設置ス。又大野川筋大野郡百枝村地先ニ本川ヲ横断シ高サ九米幅一・二米、溢流型壘カ式「コンクリート」造ノ取水堰堤ヲ築造シ河水流量三〇立方米（毎秒）以下ヲ此處ヨリ取入レ延長一七・八三〇米（内隧道一〇、五四九米間渠七、二八二米）、送水路ニヨリ自然流下セシメ本貯水池ニ連絡導水ミ本計画ニ附帯セル昭和井路開鑿金事業ニ要スル農業用水ハ右岸ヨリ直ニ分水ス。又左岸ニ取水口ヲ設置シ延長一、六二〇米調壓水槽ヲ末尾ニ設置スル水壓隧道ヲ過ギ水壓管ニ連ル、本管ハ三條ニ分レ延長七四、〇二二米ニシテ発電所ニ達ス。此ノ水路ヲ通り毎秒最大六六・二七立方米、最小毎秒九立方米ヲ流下セシム。此ノ落差ニヨリ発電電ニ利用セシ後放水路一六三・一五米ニシテ

大筒井川ニ流下大野川ニ合流シ下流沿岸、各種用水ニ必要ナル原水トシテ供給スルモノナリ
 工事内容次ノ如シ

(一) 取水堰堤

位置

大野郡百枝村地内

取水高標高

⑩ 七九米

集水面積

九七九平方呎

洪水流量

毎秒四〇〇〇立方呎(推定)

溢流高

五米

堰堤型式

溢流型重力式「コンクリート」造

堰高

九米

堰頂長

一二米

法勾配

上流側一分 下流側七分五厘

堆砂面

⑩ 七六米

堤体積

一〇、〇〇〇立方呎

(二) 送水路

綫延長 一七、八三〇米

内(隧道)

一〇、五四九米

開渠

七、二八一米

(内水路橋ニテ所延長
 二二、二八六米ヲ含ム)

流量

毎秒三〇立方呎以内

形状寸法

隧道

馬蹄形断面面積二〇、三七平方呎
 高四、八八米 幅四、四米

開渠

梯形断面面積二二、〇六平方呎
 高四、三七米 上幅六、八四米 下幅四、〇米

勾配

二子分六、二子百分一、二子百分一

構造

無一層隧道

隧道

管上、コンクリート止地質ニ應ジ其ノ厚ハ
 二〇釐、二五釐、三〇釐、四〇釐

人孔敷一ヶ所、横坑敷七ヶ所

開渠

底部 コンクリート張
側壁 三分法コンクリート及練石積
非常分水並砂排除路四ヶ所

(三)貯水池

位置 大分郡吉野村地内

満水位標高 ⑩ 七〇米

低水位標高 ⑩ 五一米

集水面積 一六、八〇〇、〇〇〇平方メートル(天筒井川)

湛水面積 一、一三六、五〇〇平方メートル

全容量 一〇、七二〇、〇〇〇立方メートル

有効貯水量 九、七六〇、〇〇〇立方メートル

最大水深 三七米

有効水深 一九米

原 地 河川、山林、耕地、宅地、原野

(四)堰堤位置

右岸 大分郡吉野村大字志津留字大柳三八八番

左岸 全郡全村大字 今字荒川 四一三番

堰堤型式 非溢流型重力式「コンクリート」造

堤 高 三七米

堤頂長 二〇五米

法勾配 上流側一分 下流側七分八厘

堤体積 七四、〇〇〇立方メートル

堆砂面 ④ 四五米

地 質 砂岩(別蓋ノ通)

(五)壓力隧道

延長 一六二〇米

内 径 三、八五米(円型)

勾配 一千分の一
 流量 每秒最大二七立方米 最小九立方米
 構造 鐵筋コンクリート 巻立厚
 地質 三應シロ。種、四五種

(六) 調壓水槽

型式 巻働型
 高 三一、三七米
 上部内径 二三、六〇米
 下部内径 一一、八五米
 構造 鉄筋コンクリート

(七) 水壓鉄管

内径 上部二二米 中部一九米 下部一七米
 長さ 七四、〇二二米
 本数 三本

(八) 發電所

使用水量
 最大 每秒 九七二立方尺 (二七立方米)
 常時 四八六 " (一三五立方米)
 尖頭常時 九七二 " (二七立方米)
 落差
 最大 一六六、五七尺 (五〇、四七五米)
 常時 一四八、二八尺 (四四、九六五)
 尖頭常時 一〇三、八七尺 (三一、四七七)

發電力
 最大 一一、二二〇キロワット
 常時 四、八八〇 " "
 尖頭常時 六、九一〇キロワット

(九) 水車及發電機

水車 シングル、スパイラル、フランシス型 堅軸
 定格出力 四、五〇〇キロワットナリ
 發電機 水車軸ニ直結シテ電壓 一一、〇〇〇ボルト
 三相交流五〇サイクル 容量四、五〇〇 KVA、モ
 三台ヲ設置ス

15) 放水水路

放水路、放水口ヨリ五八米造三本、以下合流セシム
総延長 一三八、二六米

内

三本箇所 五八米 高、一、二米中、三、七米
合流箇所 七〇、三米 高、一、八米中、九、二米

勾配 六百分の一

大野川河水統制事業費豫算書

事業費總額金壹千參百萬圓也

(送水路費内七拾萬也、農林省負擔)

内譯

一貯水池築造費 九八〇〇、〇〇〇圓

内

- 取水堰堤費 二八六〇、〇〇圓
- 取水庭並取水口費 一一五〇、〇〇圓
- 送水路費 五七八七、〇〇圓
- 堰堤費 一七五〇、〇〇圓
- 用地費 六八七、〇一四圓
- 物件移轉補償費 五九四四、〇圓

二、電氣事業費

土捨場費	三三五〇〇〇圓
附帶工事費	一〇〇〇〇〇圓
工事雜費	三一、一四六圓
豫備費	非二七八〇〇圓
事務費	四四〇六〇〇圓
內	三二〇〇〇〇〇圓
取水口費	五〇〇〇〇圓
水壓隧道費	六七九〇〇〇圓
水槽費	一三一〇〇〇圓
水壓鐵管路費	一九三〇〇〇圓
放水路費	二九五〇〇圓
電氣設備費	一三五〇〇〇圓

建築物費	四〇〇〇〇圓
用地費	六七八〇圓
土捨場費	一五〇〇〇圓
工事雜費	一二四一二〇圓
豫備費	六六五〇〇圓
事務費	一五五一〇〇圓

大筒井川流量表 (流域面積 17.2 KM²)

年次	月												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
昭和	雨量	595	859.0	1309.0	1719.0	958.0	1942.0	1363.0	3129.0	940.0	649.0	639.0	466.0
	流出	434	784	1550	1890	992	2290	1936	3492	2190	944	690	558
5	平均流量	0.14	0.28	0.50	0.63	0.32	0.96	0.56	1.12	0.29	0.24	0.23	0.18
	雨量	486.0	1213.0	929.0	1089.0	853.0	1338.0	2949.0	1295.0	1863	1843.0	492.0	44.00
6	流出	5.89	1344	1485	1260	1054	1530	3410	1612	2160	21.08	59.0	496
	平均流量	0.19	0.48	0.35	0.42	0.34	0.51	1.10	0.52	0.92	0.68	0.19	0.16
7	雨量	900	508.0	401.0	138.00	138.10	211.10	2913.0	2329.0	192.30	43.30	592.0	1200.0
	流出	0.62	5.80	4.65	159.0	15.81	243.0	31.93	24.99	19.80	4.96	6.90	13.64
8	平均流量	0.02	0.20	0.15	0.53	0.51	0.81	1.03	0.89	0.66	0.16	0.23	0.44
	雨量	59.10	340.0	111.30	191.20	142.40	150.60	186.60	253.60	48.60	100.90	89.90	33.90
9	流出	903	392	1302	2190	1643	1940	2190	2914	540	19.22	10.50	3.92
	平均流量	0.13	0.14	0.42	0.93	0.43	0.58	0.90	0.94	0.18	0.62	0.35	0.12
10	雨量	25.90	18.50	835.0	196.40	648.0	134.50	1238.0	284.0	259.60	164.50	95.30	68.50
	流出	2.59	12.04	11.49	20.10	944	15.00	1426	3.10	29.70	18.91	11.10	9.06
11	平均流量	0.09	0.08	0.39	0.67	0.24	0.50	0.46	0.10	0.99	0.61	0.39	0.26
	雨量	24.50	108.00	1440.0	444.80	585.0	346.20	196.80	258.00	401.50	94.60	86.30	16.40
12	流出	299	12.04	16.12	18.60	682	386.0	2446	3996	46.20	10.54	10.20	9.44
	平均流量	0.09	0.43	0.52	0.62	0.22	1.32	0.66	0.96	0.54	0.34	0.34	0.24
13	雨量	2450	6230	3190	18190	19220	13010	44450	18300	9460	4490	3640	4.34
	流出	299	954	392	2100	1984	1500	5084	2408	1590	1085	510	4.34
14	平均流量	0.09	0.26	0.12	0.90	0.64	0.50	1.64	0.68	0.53	0.35	0.17	0.14

降水量観測表

観測所 大分縣直入郡宮砥村

月次	昭和五年	六年	七年	八年	九年	十年	十一年	十二年	十三年	十四年	十五年平均
一月	八二二	九四五	一〇九七	三九三	三〇一	三九	二〇六	七三一	五七一	〇	五三四
二月	一三九	一〇三三	五五〇	五二〇	一九五	九七〇	六〇〇	一八二	四三三	六二	七九一
三月	一五六	六三三	三六二	一五六	一三一	一五三	三三九	一〇〇	六〇	一〇九	一〇九
四月	三九三	一六八	一三三	一八一	一五九	一五〇	一〇二	一三九	八	一五七	一五九
五月	九七九	九〇〇	二〇四	一三二	五二九	二二	二三八	一五九	二二九	一五九	一一六
六月	二六六	一〇九	二二七	一七六	一六〇	三三	一〇	二二	二六一	三六	二二五
七月	一八五	五九〇	二九六	一三五	一九二	一〇〇	四七六	三〇六	二〇〇	二〇六	二六九
八月	二〇七	一〇二	二〇二	二六二	一七九	二五〇	一四六	一四六	一五六	三二	一一〇
九月	七〇二	一七六	一〇九	三九	一六〇	六五	五三三	四七	四七	一七九	一七九
一〇月	一三〇	一三六	三三三	一三〇	一四一	三三	一〇二	二二	二九	三〇	一〇
十一月	二二	三二	五三	六二	一〇〇	三九	一四	一	一五	五〇	六
十二月	五八	一六一	九二	三九	一八	六六	三二	一六	一六	三	五

降水量観測表

観測所 大分縣直入郡久住町

月次	昭和五年	六年	七年	八年	九年	十年	十一年	十二年	十三年	十四年	十五年平均
一月	五五四	六九二	一九三	五七〇	三六七	三〇八	一六〇	五八六	九六一	七六一	四九五
二月	二二九	二二六	二六八	四〇〇	二二〇	二二八	一五六	三九七	三九七	六五八	二六二
三月	一六六六	一〇〇〇	三〇一	一〇七七	一〇四六	一〇四六	一五七六	九八七	一〇六七	一〇六四	一一〇一
四月	三三〇三	一四〇五	一八九七	三三三九	一六八一	三三七	一五八八	八六五	一四六五	一四六五	一八二六
五月	六三八	一三〇〇	一八〇〇	一七〇〇	七六十一	二〇三三	六五五	三〇八	三〇八	三〇八	一四七一
六月	三三〇一	二〇〇〇	二二六〇	三三二二	一七六一	二七六	二二五	四六一	三〇八	三〇八	三〇〇三
七月	一四一〇	九三三	二二九九	一七九〇	一八四三	二九六	二二六	二六九	二六九	二六九	三三九八
八月	三三〇〇	一八九九	一九九九	一〇八二	二二〇〇	三三三	三三三	二六九	二六九	二六九	一九五三
九月	一八八二	一〇〇〇	一〇〇〇	五三三	三三〇	三三〇	一〇〇	五八二	六三九	六三九	一五三三
十月	九〇〇	二二二	三二二	二〇〇	一三三	一六二	一六二	三六一	三六一	三六一	一三九一
十一月	七五七	六九二	五八二	八三五	一〇四二	五七五	九八二	二二	三九六	三九六	六五四
十二月	五三九	五一四	二二二	三六九	七七一	九五二	三九一	一八〇	三九	三九	五四五

降水量観測表

降水量観測表 観測所 大分縣道入郡竹田町

月	昭和五年	昭和六年	昭和七年	昭和八年	昭和九年	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年	昭和十三年	昭和十四年	十五年平均
一月	550	636	633	553	392	399	195	522	554	211	436
二月	110	137	73	55	189	256	525	149	433	222	211
三月	160	191	312	135	100	136	300	150	93	103	105
四月	150	135	160	150	130	140	269	156	67	69	145
五月	69	65	100	30	7	22	22	32	25	5	119
六月	196	205	232	235	123	177	196	246	233	233	201
七月	203	203	232	180	200	229	237	239	233	233	203
八月	333	333	333	333	333	333	333	333	333	333	333
九月	550	206	150	65	162	75	196	58	51	51	147
十月	100	100	500	33	155	25	70	196	33	33	147
十一月	111	63	55	25	108	23	59	23	30	30	66
十二月	46	29	33	66	22	29	36	29	26	26	53

新大野郡長谷川村

降水量観測表
 観測所大分縣大野郡長谷川村

月	昭和五年	六年	七年	八年	九年	十年	十一年	十二年	十三年	十四年	十五年平均
一月	七二六	七五〇	七三三	四六八	二九七	三三五	二八九	五一六	七七〇	八六二	四七五
二月	一一三七	一四三三	七三九	四四六	二二三	九〇九	六三二	一三四	四六八	三七一	七七六
三月	一八三三	一四三三	三九五	一三二六	一三三六	一四〇八	五三三	一九三〇	九三三	一三三二	一一〇八
四月	二二三三	一一二四	一四九〇	一九〇一	一五二五	一四七二	一九九八	一七三三	六八五	一五四一	一五一二
五月	九八四	一九三二	一九〇二	九九六	四四六	七五八	二四七	一一三一	二四九九	二〇二二	一五一一
六月	二九六五	二二八四	二三七二	一八二五	一八九九	三六一二	一八七二	一五三六	三〇九九	四三〇三	二五七六
七月	三三七四	四七九九	二二四九	一六五二	一五四七	一六三八	四八二三	三三七〇	二四三二	三五四六	二八二八
八月	四三五四	三六四	四二〇一	三三九九	八五四	二〇〇〇	二四四五	一四四六	二六四	五〇七九	二九四〇
九月	五九二	二九二一	一五〇六	四八七	四〇六七	五九七	一〇九九	六四六五	四〇四	四三五	二三七三
十月	一九四	一九四四	五〇〇	一三八七	一八八五	五五七	一一三六	一一五九	二九六八	三三六六	一五八九
十一月	九四八	五四三	五〇四	六六三	一〇七五	七二六	四九三	七五八	二九	四三七	六一六
十二月	五八六	五二二	一二二八	三六六	八八四	七〇一	二七八	三五〇	一四五	七七	五二二

大分縣大野郡大野町
 大野町大分縣大野郡大野町

降水量觀測表
 觀測所 大分縣大野郡大野町

月	昭和五年	六年	七年	八年	九年	十年	十一年	十二年	十三年	十四年	十五年平均
一月	五五二	四七二	五七二	五六一	五九九	六二二	五五六	五五二	七二二	八〇二	一〇〇一
二月	二九三	二二一	五〇九	四九九	一五九	九四二	六三二	三二二	一四三	四三三	七二一
三月	一五八	二九三	三〇一	二二七	二八三	一三〇	一〇一	六五	六五	一三二	一〇二
四月	二二二	一三九	一六〇	一八〇	一五三	一七四	一〇二	七六	一四一	一四一	一五三
五月	九一〇	九三三	一七三	一六〇	五〇〇	六四〇	一〇三	〇〇〇	七〇	二九	一六〇
六月	二〇九	一六二	二二二	一六六	一五〇	三二九	一八九	二二九	二二九	二九二	二二二
七月	一三〇	一〇二	一七〇	一六二	二六三	一七〇	三三五	三六七	三六七	三六二	二五九
八月	二二六	一七二	二二二	一六一	二六二	二〇〇	一〇二	一五二	二六二	二六二	一八九
九月	六八〇	二九七	一六九	四六	五〇〇	一〇〇	一〇〇	九二	一〇一	一〇一	二〇六
十月	八五八	一七〇	三六七	三〇九	一三六	八二	九〇	二五二	二二二	二二二	一〇一
十一月	六六九	五〇	七〇	七四	九六	六七	六五	一〇	三三	三三	一〇
十二月	四九二	三〇七	一三二	〇〇	七二	七九	一七	一〇	一〇	一〇	六〇

降水量観測表

観測所 大分縣大野郡三童町

月次	昭和五年	六年	七年	八年	九年	十年	十一年	十二年	十三年	十四年	平均
一月	五七六	五七六	五七二	五九六	三六三	三三三	三三三	六三八	六九五	八九三	四八三
二月	一〇〇九	一〇〇九	一〇八五	五八八	一六七	九三三	六二二	二二二	五七七	四〇〇	七六一
三月	一七三九	一〇三二	三六一	二九四	一〇二	一四二	一五六	一五六	七四	一三二	一〇二
四月	二〇〇一	一〇七三	一三二九	一八三九	一五六六	一六九	一〇二	一〇二	六三二	一五九	一五九
五月	九三〇	一三七八	一四七二	一三七五	一〇一	七六一	一三三	一三三	一三三	三九七	一一一
六月	三三三	一六二七	三三三	一六三六	一〇三	三三三	一四九	一四九	三三三	九三〇	一一一
七月	一一一〇	四四八	一九七五	三六〇	一〇〇	一六七	一七七	一七七	三二二	三三三	一一一
八月	三三三	一七六六	三三三	三三三	一六〇	三三三	一三三	一三三	三三三	三三三	三三三
九月	六六九	三三三	一九五六	七〇〇	三三三	五九六	一三三	一三三	九三二	四六二	一一一
十月	二六〇	三三三	一〇一	三三三	一七六	九三三	一三三	一三三	三三三	三三三	一一一
十一月	六六六	四三三	一〇一	一〇一	一〇一	七六一	七六一	三三三	三三三	三三三	六三九
十二月	五三二	四三三	一三二	七〇〇	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	三三三	一三三

昭和大分縣直入郡竹田町
 大分縣立大分大學附屬竹田分校

最高最低氣溫觀測表

觀測所 大分縣直入郡竹田町

年次	最高氣溫		最低氣溫		備考
	月	溫度	月	溫度	
昭和五年	七	三二・九四	二	〇九・九	
六年	八	三〇・八六	一・二	〇二・五	
七年	七	三一・八九	一・二	〇六・〇	
八年	八	三〇・八二	三	一〇・〇	
九年	八	三二・六五	一・二	〇六・五	
一〇年	八	三一・六二	一・二	〇八・九	
一一年	八	三〇・三〇	三	一六・〇	
一二年	七	二九・八〇	一・二	〇七・〇	
一三年	七	三二・〇〇	三	〇八・〇	
一四年	七	三〇・四〇	二	一四・〇	
平均		三一・三三		〇八・八	

最高、最低氣溫觀測表

觀測所 大分縣大野郡三重町

年次	最高氣溫		最低氣溫		備考
	月	溫度	月	溫度	
昭和五年	七	三三・九五	一二	〇・四一	
" 六年	八	三〇・三三	一	一〇・〇〇	
" 七年	七	三二・四九	三	〇・八三	
" 八年	八	三二・三九	二	〇・八一	
" 九年	八	三二・八一	三	〇・三九	
" 一〇年	八	三一・七〇	一	〇・九六	
" 一一年	八	三一・三〇	三	〇・七〇	
" 一二年	八	三一・九〇	一	〇・一〇	
" 一三年	七	三〇・四〇	一	〇・八〇	
" 一四年	七	三一・三〇	一	一・二〇	
平均		三一・五五		〇・七二	